

# 中部国際空港 CO<sub>2</sub>削減の取り組み

**セントレア貨物地区水素充填所**  
水素ステーション

**天然ガスステーション**  
ECO STATION

**自然採光・光触媒ガラス**

**グリーンカーテン**

**航空機騒音測定局**  
空港周辺

**管制塔・航空局庁舎**  
中部国際空港駅  
第2ターミナルビル  
FLIGHT OF DREAMS (フライト・オブ・ドリームズ)  
Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)

**進入灯**  
貨物施設  
エプロン  
第1ターミナルビル  
滑走路 (3,500m)  
進入灯

**太陽光発電パネル**  
1,400枚の太陽光発電パネル

**エネルギーセンター**  
天然ガスコージェネレーションシステム

**海水利用設備**

**航空機給油施設**  
給油タンク：6,000ℓ × 5基

**GPU (地上動力装置)**

**EV・PHV 充電スタンド**

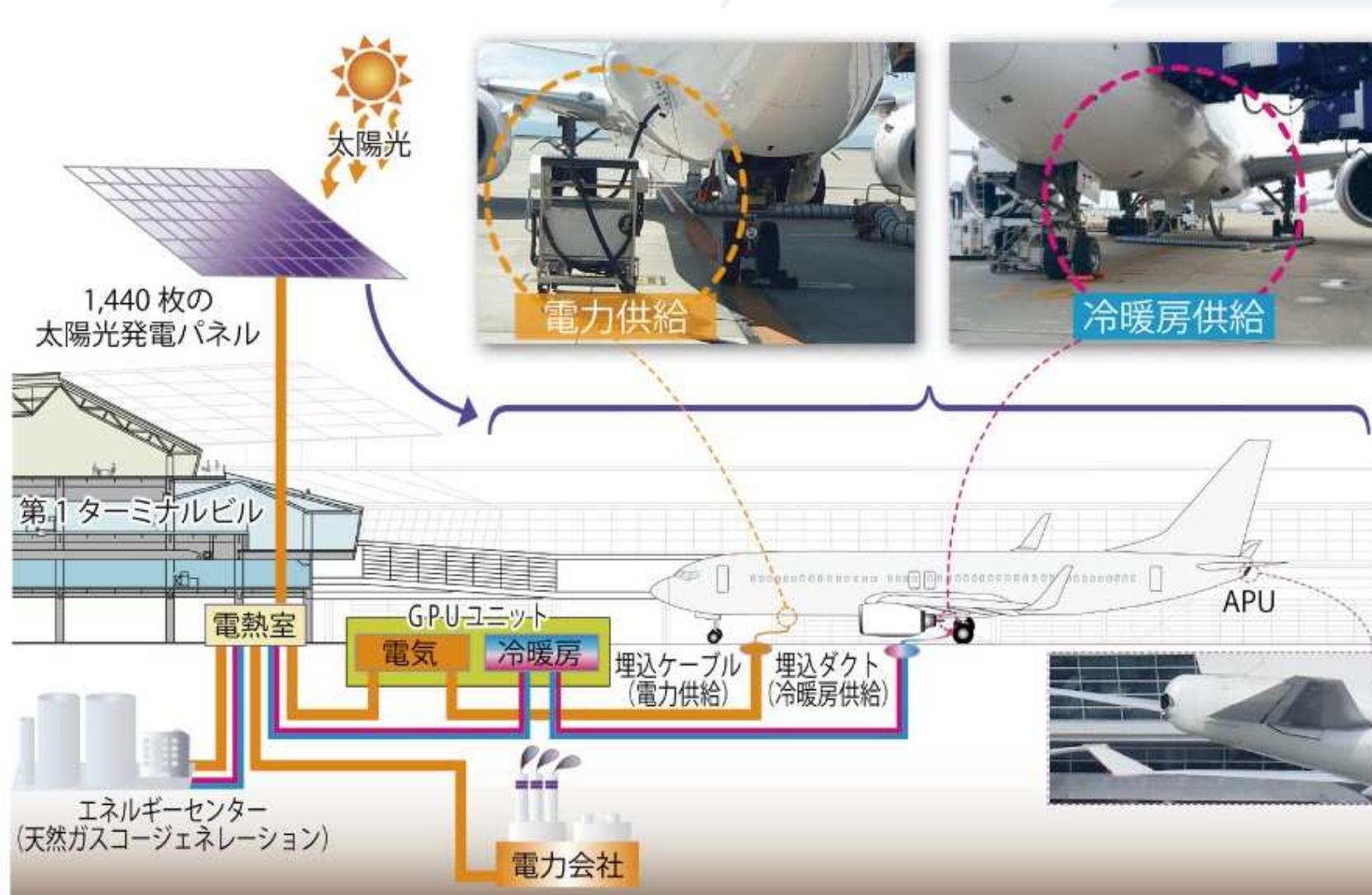
**リサイクルセンター**

**藻場の造成**  
ワカメ・アカモク

**ハイドラント方式による給油**

# GPU (地上動力装置) の利用推進

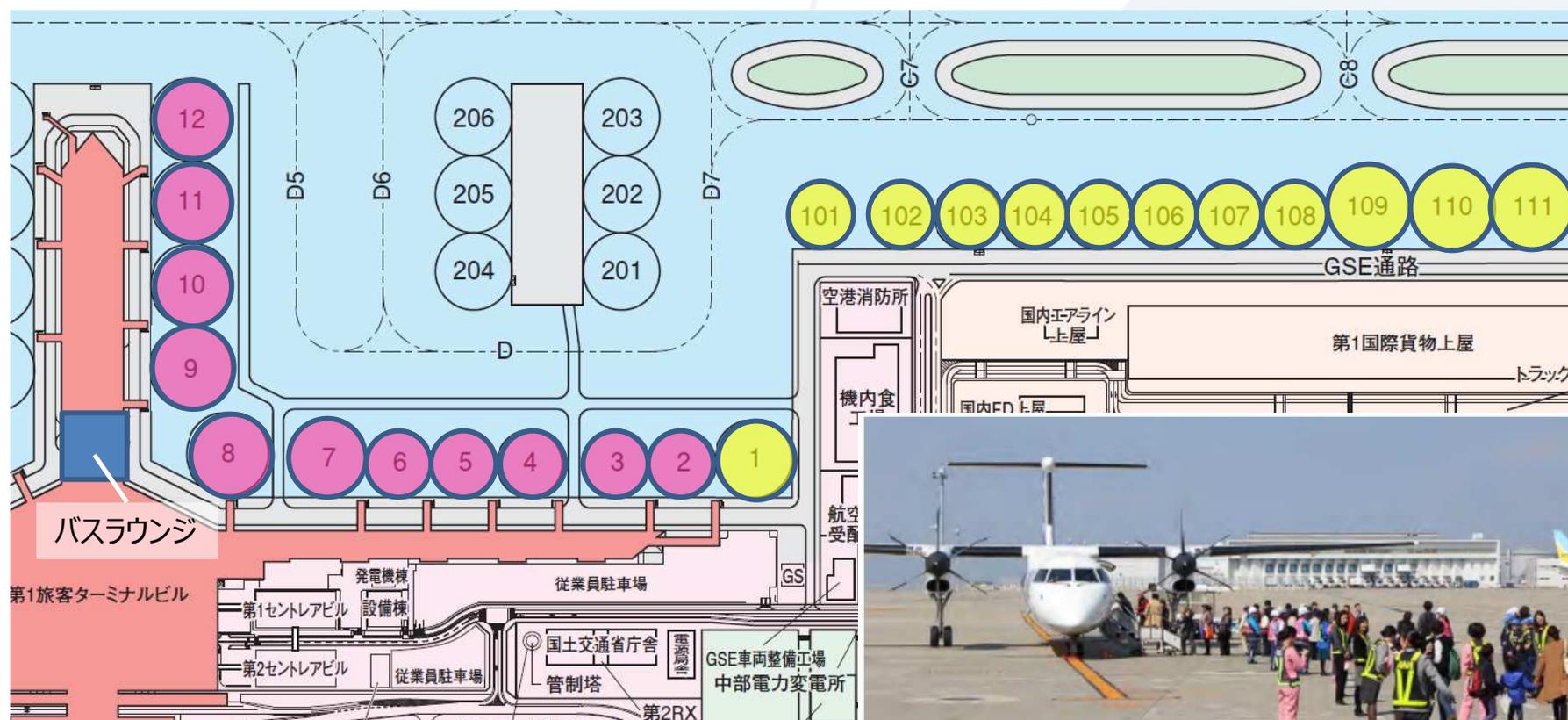
- ◆ より環境負荷の少ない、電力による固定式GPUをエプロン地区などのスポットに設置
- ◆ GPUの利用により、排気ガスの減少による大気汚染の改善、騒音排気ガス減少による労働環境改善、燃料の削減などを図ることが可能 (GPU電力の10~15%は、太陽光発電によるもの)



# 小型機の自走アウト可能スポットの整備

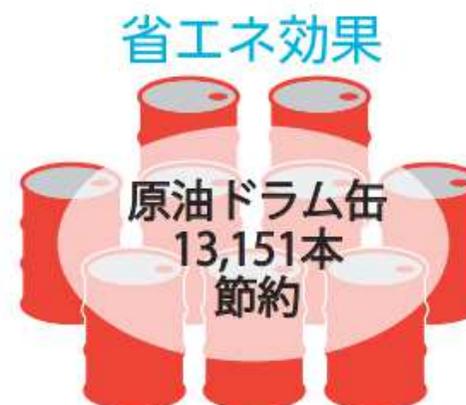
- ◆ 小型機（CRJ7、DH8D、PV機など）が自走アウト可能なスポットを整備（PBB（搭乗橋）設置の一部のスポットにおいても、駐機位置の変更等を行い、自走アウト可能とした）
- ◆ プッシュバック機会の減少による牽引車のCO<sub>2</sub>削減に加え、バスラウンジ近傍のスポットでのハンドリングが可能になり、旅客の移動距離・時間が短くなることで満足度の向上にも寄与

小型機の自走アウト可能スポット ● PBB付スポット ● オープンスポット



- ◆ 1つのエネルギー（天然ガス）から2つのエネルギー（電気と熱）を取り出すシステムで、エネルギーの利用効率が高く、燃料の使用量を抑えることが可能
- ◆ ガスタービン発電機によって発電を行うと同時に、排熱を利用して蒸気を取り出すことが可能
- ◆ 海水熱交換器では、海水との温度差を利用し、プラント設備の冷却水を冷却

## 天然ガスコージェネレーション (2019年度実績)



- ◆ お客様用のEV・PHV充電スタンドや天然ガスステーション等の整備、制限区域内GSEの充電設備の整備、お客様駐車場の低公害車割引等により、低公害車の利用を推進



EV・PHV充電スタンド（お客様用）



天然ガスステーション



充電中の電動フォークリフト



電動トーイングトラクター



電気自動車（連絡車）

## ◆ 水素ステーションの整備により、燃料電池車両の利用を推進



セントレア水素ステーション（商用）



貨物地区水素ステーション（産業用）



FCフォークリフト



FCバス